

ほんす

特定非営利活動法人
沖縄伝承話資料センターだより
2006年10月18日発行
TEL 098-890-2455 FAX 同

涙と笑顔の、遠藤庄治先生「お別れの会」及び「偲ぶ集い」

去る八月二十九日（火）、当センターが主催となり、先生がこれまで教鞭をとってこられた沖縄大総合文化学部、そして先生が名付け親となった飛衣羽衣カチャシ―運営委員会が共催となって、手作りの遠藤庄治先生「お別れの会」、「偲ぶ集い」を開いた。先生の教え子や、民話研究の関係者など約六百人が参列した。

1部の「お別れの会」では、花園大学文学部教授の丸山顕徳先生、日本民話の樋口淳先生、小澤昔ばなし研究所所長の小澤俊夫先生が、お別れのことを述べた。

先生の出身地である、福島からは語り部の横山幸子さんが駆けつけ、先生から聞いた最後のむかしばなし「おしやらこぜんべえ」の話を語って頂いた。それから、沖縄の話者である名護の山本

川恒翁のむかしばなしの語りが遠藤先生の解説入りでビデオ上映された。

遺族代表で兄の宍戸清治さんが、「亡き母に代わり沖縄の皆さんにお礼を」とあいさつされた。

2部の「偲ぶ集い」においても、約二百名が出席し、先生と親交のあった方々がそれぞれに思い出を語り、教え子の皆さんが、先生から指導を受けた「鬼慶良間」の劇を一部朗読で紹介した。涙と笑顔で先生を偲んだ。

「お別れの会」の反省会&慰労会では、多くの皆様から「いいお別れの会だった」とお褒めの言葉を頂いたことに運営委員一同、安堵感と今後のNPO法人の活動の原動力になったことを確認した。



会費納入について

平成十八年度は五十九名の方が会費未納（十月六日現在納入率六十％）です。会の運営にも支障がありますので、早めに納入下さいますようお願いいたします。

メンバーリストへの登録について

センター会員への通信案内を充実させるために会員のメンバーリストを作成しています。現在五十八名の方が登録済みです。メールアドレスをお持ちの方はセンターのファックスかE-mailでご連絡下さい。

沖縄伝承の旅

参加者募集

センターの事業として、昔話や伝説の伝承の地を旅するツアーを企画したらどうだろうと、小澤俊夫先生（センター顧問、小澤俊夫昔話研究所所長）から提案がありました。前理事長の遠藤庄治先生は、沖縄を訪れる皆さんを機会あることに伝承の地へ案内していました。

そこで遠藤先生が作成した豊富な資料を活用し小澤先生の講話も聴くことができます。今回は、今後の事業の進め方を考える

スタイルに参加します

十月二十八日（土）、二十九日（日）

沖縄コンベンションセンターで右記の行事が開催（併催）され、当センターもワークショップ参加することになりました。

- ① 伝承おもちや作り 両日十時から十七時・会議棟Aロビー 照屋寛信理事長を中心にカジマヤー（かざぐるま）などのおもちや作りを子どもたちと一緒にに行います。
- ② 沖縄の民話紹介 二十八日のみ・会議棟B 民話資料、絵本、紙芝居展示、会員による民話の語りなどが行われます。是非、親子で、家族でご参加下さい。また、会員の方が一緒にお手伝いを申し出て下さるととても助かります。

FMたまんのコーナー放送終了
昨年十月から毎月第二・四土曜日に放送していた「たまんの窓から」の中の「伝承の話の旅」のコーナーが九月二三日で終了しました。